

2018年12月1日(土)

# BIOMIMETICS

バイオミメティクス市民セミナー・対話篇

## 第84回 北海道とバイオミメティクスを考える その8 動物と人との関係誌



世界最小級の哺乳類である  
トウキョウトガリネズミは、  
1903年に初めて捕獲されてから  
約100年間同一地点で捕獲されたことはなく、  
偶然でしか捕獲できないと評された  
幻の種でした。近年は  
同一地点での捕獲が可能になり、  
生態が徐々に判ってきました。  
すると、これまでの本種に  
関する知見には思い込みとも  
言える解釈が多く、それが本種と  
の出会いを阻んできたようです。  
本種の最新情報の紹介を通して、  
得られた断片的な現象を  
どのように捉えるかについて  
考えてみたいと思います。

## 一番小さな哺乳類 トガリネズミのお話

北海道大学低温科学研究所

おおだち さとし

## 大館 智志



トガリネズミ類はネズミと  
名が付きますが齧歯類ではなく  
真無盲腸目というモグラや  
ハリネズミの仲間に属します。  
トガリネズミ類では世界最小の  
陸棲哺乳類とされる種が  
少なくとも3回

独立に進化しています。

また哺乳類としては珍しく  
毒を持つ種がいくつか知られています。

一方、北方系のトガリネズミ類は  
基礎代謝率が非常に高く食物要求量が  
高いにもかかわらず極寒の地でも  
冬眠をせずに越冬します。

この不思議が一杯の  
真無盲腸目哺乳類に私は魅了され  
その生態と進化を明らかにすべく  
30年以上、様々な側面から  
研究をつづけております。



## トウキョウトガリネズミが 私たちに語ること

環境省希少野生動植物種保存推進委員

かわはら あつし

## 河原 淳

主催：北海道大学総合博物館  
共催：高分子学会北海道支部  
北海道大学 電子科学研究所  
特定非営利活動法人バイオミメティクス推進協議会  
協賛：千歳科学技術大学バイオミメティクス研究センター  
北海道大学総合博物館  
060-0910 札幌市北区北10条西8丁目  
問合せ先：TEL:011-706-2658 FAX:011-706-4029  
E-mail: museum\_jimu@museum.hokudai.ac.jp



会場：北海道大学総合博物館/1階 「知の交流」  
札幌市北区北10条西8丁目

時間：午後2時30分から午後4時